

今回マルメ研修に参加し初めの夕食の時、熊谷先生からの手紙で「システムを模倣したとしても決して患者さんの真の利益につながる歯科診療所として機能することはできない。システムを動かすのは「哲学」だからです。どんな「哲学」を持って歯科医療に臨めばいいか、この研修に挑んでください。」（少し省略した内容です）という言葉が紹介されました。この研修を終え、この言葉の意味が少しわかった気がします。

この1週間マルメ大学の講師の方々の歯科医療に対する熱い思いが伝わってきました。また素朴な質問にも親切に答えていただきました。

スウェーデンという社会のシステムにも関心しました。

1歳から19歳までは歯科医療は無料です。その間に歯科教育を行います。自分のカリエスリスクを知る。それ以降はリスクの高い者は治療費がかかってしまう。そうすると、自分達の口腔内に興味を持つようになると考えられます。

また私たちのような女性は日本では育児と仕事の両立の際、悩むことがたくさんありますが、スウェーデンでは育児をしながらも女性が仕事をしやすい環境づくりがあるようです。

歯科医師も歯科衛生士（もちろん他の職業の方も）出産後1年半以内で心配なく職場復帰できる社会。

本当に国としての取り組みが素晴らしいと感じました。

スウェーデンでは国がしっかり国民を守るという意志が伝わってくるようでした。このスウェーデンの社会のシステムを裏打ちする「哲学」は歯科医療の世界にもしっかりと浸透しているのを実感しました。どうすれば健康に少しでも貢献できるのか常に考える使命があるように思いました。

講義だけでなく、参加者の先生、歯科衛生士の方々の歯科医療への思いの強さにも刺激を受けました。

モチベーションも上がり、帰国後も何か今までと違います。

本当に今回の研修に参加できてよかったです。